

実態のわからない物に依存する暮らしから
知って感謝と喜びに包まれる豊かな暮らしへ。

誰によってどんな風に作られているか、考える事もなく、綺麗に並んだ野菜を手に取り、見た目や
価格だけでなんの疑問も持たず選ぶ。

そんな事が当たり前だった私の暮らしも
知ることや作り手と出会う事で、大きく変化しています。

誰がどのように作っているか知る事や、実際に作る体験する事は

ささやかな日常にも感謝や喜びを感じる心を育んでくれて、暮らしそのものをとても豊かにしてく
れています。

暮らすだけで特別で幸せ。
そんな日常を得られたのは
丹波が初めてです。

今まで私が考える事すらしなかったのは、
「国産は安全だ」と妄信する大誤解があったから。

でも残念ながら今では日本は農薬大国と言われていて、安全性を疑われ始めています。

買う人が居るから
作る人が居る。

この現状を作ったのは生産者ではなく、実は知らずに買う私達消費者だなど思ったりしています。

荒地を減らさないといけない。
量販しなければ暮らしが成り立たない。
量販するためには農薬が必要。

だから仕方がない。

よく聞く言葉ですが、

仕方がない物を自分や大切な人に

与えて本当に幸せか？

せっかく与えられた命を、楽しんで喜んで
幸せを謳歌する生き方につながるか。

どうしても違和感が残ります。

このままではいかん
という違和感を持つことは

自分に向き合う事、大切な人を大切にする事
住まわせてもらっている地球を大切にする事に繋がっていると思います。

安易に使われる「仕方ない」というマジックワードはその大切な違和感に向き合う意識を簡単に奪ってしまいますが、コミュニティがあれば、高め合いながらみんな豊かな暮らしに向かえる。

このプロジェクトに参加することで
食べる人、栽培する人両方が関わり合い、知っていく度に、大切な気づきがきっと沢山あり

尊いものが日常にどんどん増え、暮らしが豊かになるのではないかなとワクワクします。

ステキなコミュニティの誕生！
心より応援致します！

yoga のおうち LOKATE

